

平成 25 年 9 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成 25 年 2 月 12 日

上場会社名 株式会社ユーグレナ 上場取引所 東
 コード番号 2931 URL http://www.euglena.jp/
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 出雲 充
 問合せ先責任者（役職名） 取締役経営戦略部長（氏名） 永田 暁彦 (TEL) 03(5800)4907
 四半期報告書提出予定日 平成 25 年 2 月 13 日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 25 年 9 月期第 1 四半期の業績（平成 24 年 10 月 1 日～平成 24 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25 年 9 月期第 1 四半期	388	—	21	—	18	—	11	—
24 年 9 月期第 1 四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25 年 9 月期第 1 四半期	5.36	4.89
24 年 9 月期第 1 四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、平成 24 年 9 月期第 1 四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成 24 年 9 月期第 1 四半期の記載及び同期間の比較は行っておりません。
 2. 当社は、平成 24 年 12 月 20 日に東京証券取引所マザーズ市場に上場しているため、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額は、上場日から当第 1 四半期会計期間末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25 年 9 月期第 1 四半期	2,115	1,962	92.8
24 年 9 月期	1,372	1,168	85.1

(参考) 自己資本 25 年 9 月期第 1 四半期 1,962 百万円 24 年 9 月期 1,168 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24 年 9 月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25 年 9 月期	—	—	—	—	—
25 年 9 月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 25 年 9 月期の業績予想（平成 24 年 10 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	2,291	44.5	352	14.4	409	25.8	254	28.7	99.76

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期1Q	2,655,500株	24年9月期	2,155,500株
② 期末自己株式数	25年9月期1Q	一株	24年9月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期1Q	2,226,152株	24年9月期1Q	一株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 2 ページ「1. 経営成績・財政状態に関する分析 (1) 経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
(5) セグメント情報等	6
(6) 重要な後発事象	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間（平成24年10月1日～平成24年12月31日）におけるわが国の経済は、新興国経済の減速など、依然不透明な状況で推移しておりますが、政権交代による政策転換シグナル等の効果もあり、株式市況の回復など底打ち感が出てまいりました。

当社主力事業であるヘルスケア業界は、健康と美容に対するニーズに底堅いものがあり、高齢化に伴う医療費負担の増加を背景に「セルフメディケーション」に対する意識の高まりや、美容・アンチエイジング素材やエイジングケア素材の台頭があり、景気停滞下であっても当面堅調な需要が期待できる状況にあります。

このような事業環境のもと、当社では、食品、化粧品素材としての「ユーグレナ（和名：ミドリムシ）」の知名度の向上に努め、ヘルスケア製品の販売を積極的に推進するとともに、「ユーグレナ」を利用したバイオ燃料の研究開発活動を継続しました。

特に、当社は主力の販売ルートであるOEM供給に加え、製品の自社販売の強化に着手しております。当第1四半期累計期間においてはこの方針をより強化し、先行投資として広告宣伝費を中心とした販売費が増加しておりますが、売上および売上総利益は堅調に推移しております。また、研究開発をより加速するために当第1四半期累計期間において新たな研究所建設および研究設備の増設等を行い研究開発費が増加しております。

セグメント別に見ると、ヘルスケア事業においては、自社ブランド「ユーグレナ・ファーム」の知名度の向上のための広告宣伝活動及び自社製品の販売体制の強化に努めてまいりました。当第1四半期累計期間における売上高は388,820千円、セグメント利益は100,965千円となりました。

エネルギー・環境事業においては、独立行政法人科学技術振興機構が募集するチーム研究（CREST）に研究課題「形質転換ユーグレナによるバイオ燃料生産基盤技術の開発」が採択され、委託研究契約を締結いたしました。また、生産技術の向上や品質の改良、安定化を図るため、平成24年10月に沖縄県石垣市に生産技術研究所を開設いたしました。これらの研究開発活動を含め、培養技術の向上のための研究開発費の計上等により、当第1四半期累計期間は、セグメント損失24,659千円となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は388,820千円、営業利益は21,129千円、経常利益は18,494千円、四半期純利益は11,934千円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末の総資産は2,115,386千円となり、前事業年度末と比較して742,489千円の増加となりました。これは主に、一般募集による新株発行によるものであります。

負債は、主に未払法人税等の減少等により、前事業年度末から51,444千円減少し、152,893千円となりました。

純資産は、前事業年度末から793,934千円増加し、1,962,493千円となりました。この結果、自己資本比率は92.8%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

ヘルスケア事業は平成24年12月20日の上場による知名度の向上、当第1四半期累計期間における先行投資の結果などにより、第2四半期以降の需要の拡大が見込まれております。また、エネルギー・環境事業においては第2四半期以降の助成金収入の一括計上も予定されており、平成25年9月期における通期の業績予想は平成24年12月20日に開示いたしました、売上高2,291百万円、営業利益352百万円、経常利益409百万円、当期純利益254百万円より変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	892,169	1,611,693
売掛金	169,366	159,597
製品	22,906	29,697
原材料及び貯蔵品	95,178	103,363
前渡金	1,890	4,814
前払費用	10,914	7,310
繰延税金資産	7,958	2,689
その他	1,221	14,456
貸倒引当金	△2,671	△2,664
流動資産合計	1,198,934	1,930,958
固定資産		
有形固定資産		
建物	23,962	25,000
機械及び装置	0	0
車両運搬具	7,515	7,515
工具、器具及び備品	6,268	15,933
建設仮勘定	—	3,984
減価償却累計額	△14,090	△19,373
有形固定資産合計	23,657	33,060
無形固定資産		
特許権	3,522	3,397
ソフトウェア	871	803
無形固定資産合計	4,393	4,201
投資その他の資産		
関係会社株式	49,500	49,500
差入保証金	41,146	41,310
建設協力金	41,484	41,095
長期前払費用	8,915	8,809
繰延税金資産	4,865	6,450
投資その他の資産合計	145,911	147,165
固定資産合計	173,962	184,427
資産合計	1,372,896	2,115,386

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	53,136	58,690
未払金	43,254	46,213
未払費用	16,449	14,374
未払法人税等	60,471	4,034
賞与引当金	—	2,136
前受金	3,914	8,358
預り金	6,835	6,840
その他	11,400	3,359
流動負債合計	195,461	144,007
固定負債		
資産除去債務	8,876	8,886
固定負債合計	8,876	8,886
負債合計	204,338	152,893
純資産の部		
株主資本		
資本金	460,650	851,650
資本剰余金	360,650	751,650
利益剰余金	347,258	359,193
株主資本合計	1,168,558	1,962,493
純資産合計	1,168,558	1,962,493
負債純資産合計	1,372,896	2,115,386

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
売上高	388,820
売上原価	175,016
売上総利益	213,804
販売費及び一般管理費	192,674
営業利益	21,129
営業外収益	
受取利息	210
助成金収入	6,190
その他	1,401
営業外収益合計	7,802
営業外費用	
株式交付費	10,421
その他	16
営業外費用合計	10,437
経常利益	18,494
税引前四半期純利益	18,494
法人税、住民税及び事業税	2,876
法人税等調整額	3,683
法人税等合計	6,559
四半期純利益	11,934

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年12月19日を払込期日とする一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株発行により、資本金、資本準備金がそれぞれ391,000千円増加しております。この結果、当第1四半期会計期間末において資本金が851,650千円、資本準備金が751,650千円となっております。

(5) セグメント情報等

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	ヘルスケア事業	エネルギー・ 環境事業			
売上高					
外部顧客への売上高	388,820	—	388,820	—	388,820
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	388,820	—	388,820	—	388,820
セグメント利益又は損失(△)	100,965	△24,659	76,305	△55,176	21,129

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△55,176千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 重要な後発事象

第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）

当社は、平成24年11月16日及び平成24年12月4日開催の取締役会決議に基づき、第三者割当による新株式の発行を決議し、平成25年1月21日に払込みが完了いたしました。

- | | |
|----------------|----------------------------|
| (1) 発行株式の種類及び数 | 当社普通株式 80,000株 |
| (2) 割当価格 | 1株につき1,564円 |
| (3) 資本組入額 | 1株につき782円 |
| (4) 払込金額の総額 | 125,120千円 |
| (5) 資本組入額の総額 | 62,560千円 |
| (6) 払込期日 | 平成25年1月21日 |
| (7) 資金使途 | 広告宣伝費等の運転資金として充当する予定であります。 |